



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

せのうえ

瀬上小学校だより

令和6年7月12日(金)
第8号(地域回覧版)
文責:校長 高橋哲也

歩きたくなる(走る気持ちがなくなる)廊下づくり

広い廊下を目の前にしたら、少くも走りたくなるのが子どもの自然な気持ち…。
“廊下を走らないこと”は、学校の永遠のテーマかもしれません。
校内のある打合せでも、子どもたちの廊下の歩き方が話題になりました。
その打合せでは、「廊下を走る姿、廊下で遊ぶ姿、このような姿をなくし、落ち着いて右側を歩く子どもたちに育てたい。」という願いがまとまりました。
その数日後、瀬上小の廊下は姿を変えました。



ある子に尋ねました。
「こんな廊下だと、走りたいたい気持ちになるかい？」
その子は、こう答えてくれました。
「うん、全然、走りたいたと思わない！ 歩きたくなります！」
うれしい答えでした。
お花はもちろん、「走ってはいけません！」ではなく、「歩きましょう」という肯定的でやさしいメッセージがいいなあと思いました。
歩きたくなる廊下、走りたいたい気持ちがなくなる廊下。
瀬上小では、きっと、もうすぐ、廊下を走る子が見られなくなると思います(願っています)。

毎日の“こころのきろく”をチェック

タブレットでの“L-Gate(エルゲート) 学習eポータル”ログインへのご協力、ありがとうございました。

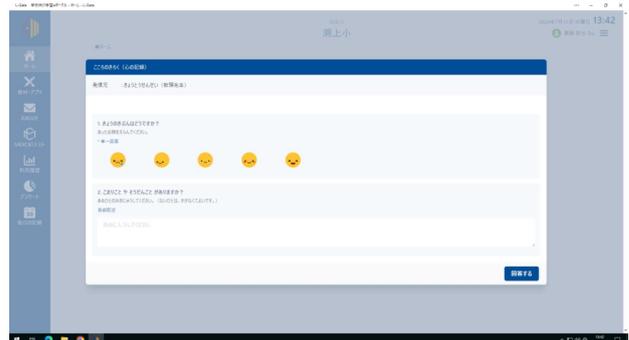
まだ、一部の子どもたちのタブレットでログインができていない状況ですが、ICT支援員の助けも借りて、1学期中には全員がログインできるようにしたいと思います。

L-Gateは、毎日の子どもたちの“心の様子”を確認することにも活用していきます。
登校後の朝の時間、それぞれのタブレットでL-Gateを開くと、下のような“こころのきろく”という画面が立ち上がります。

この画面で、子どもたちは「とてもよい」「よい」「普通」「よくない」「とてもよくない」の中から、そのときの自分の気持ちに合うマークを選びます。

全校生が選んだマークは、私たち教職員のパソコンで確認することができます。(私も、毎朝、確認しています。)

今のところ、「毎週水曜日は全学級で全員が、それ以外の日もできる人はやりましょう。」という約束になっています。



有効に活用して、子どもたちの“心の様子”を毎日のかわりに生かしていきます。